

http://www.minamih.net/



13・5・11(土)
南NEWS NO11

漢字練習ノート配ります。

漢字はお隣の中国で4000年から3500年前にできた文字です。その成り立ちには先人の知恵が満載。文化遺産として共感しながら学んでほしいのです。ラップのように書き順を唱えながら書くことによって漢字を正しく書く力もついてきます。部首歌留多も楽しみながら漢字の力をつけてほしいのです。漢字に弱いことは読書力・国語力の低下に繋がります。国語力の低下は全ての教科の低下に繋がります。

昨年度の方が終わっていない子は、それと合わせてしっかり学習してほしいと思います。その日の授業の復習と漢字ノートにコツコツと取り組んで自宅学習の習慣をつけてほしいのです。

なお、漢字ノートは後援会からのプレゼントです。有り難うございます
by 南のアンパンマン

6年生 全日本12ブロック予選1次リーグ

日時：2013年4月29日(月祝)会場：文化大G



◆めあて
くさび、ドッジング、パスコースを2つ以上(トライアングル)、パス&ムーブ

○南八王子4-0火の鳥 前半3-0 得点者：斉藤君、五島君(2)、佐藤君
試合開始から優位攻めます。前半右サイドから中への折り返しのルーズボールをMF 斉藤君がゴール前でうまく合わせて流し込みます。早い時間での得点でチームの雰囲気も盛り上がります。今日キレキレのMF 五島君が右サイドのドリブル突破からのミドルシュート等で2点を追加し前半3-0で折り返し。

後半は5年生も出場。MF 工藤君がトップ下で相手DFに囲まれながらもバイタルエリアまで運んだボールを、FW 佐藤君が冷静にGKをかわし4点目を追加しました。

○南八王子0-1リトルウイング 前半0-1

前半にDF裏に出されたボールを決められ先制点を許します。その後は南が圧倒的にボールを支配しますが、なかなかゴールを決めきれません。

後半もパワープレー気味で何度も相手ゴール前に攻め込みますが、相手DFも必死に守りゴールをこじ開けることが出来ませんでした。

残念ながら1勝1敗で2次リーグに進めませんでした。特に2試合目は惜しい試合でした。何故、勝ちきれなかったか？理由があります。ゴール前をDFに固められた場合、どう対処するか？サイドを起点としてゴール前の中央にスペースを作る攻撃パターンが出来たか？また課題がありますね。全員が運動量多く走り切り、オーバーラップも何度も見られたのはよかったです。

今後は更にコミュニケーションをベースにした全員攻撃、全員守備をめざしていきたい。

by 中野コーチ

2年生 春季カップ戦 ブロックリーグ戦 4月28日 七国小

○めあて ダブルタッチを使う 全員シュートまでいく意識を持つ

○南八王子0-5片倉 前半0-1

代試合は開始早々相手に攻め込まれる展開が目立ちました。2分には相手に先制点を決められてしまいます。なんとか早めに同点に追いつこうと加々美君、三宅君、八木君がボールをカットしては何度もドリブルで敵陣深く持ち込みますがなかなかシュートまでいけません。リズムが掴めないまま試合が進みます。

8分にはゴール前の混戦から加々美君のシュートもありましたがキーパー正面でした。

後半に入り、勢いに乗りたいたところでしたが、1分に相手にFKを与えてしまい、これを直接決められ失点。この後にも相手のドリブル突破やパス回しなどで失点を重ねてしまい、前半からペースを掴めないまま試合を終える結果になりました。

相手選手へのプレッシャーも甘く、その結果プレーそのものがワンテンポ遅れてしまう場面が目立ってしまいました。勝っている試合では素速い対応がしっかりできています。どの試合でも速いアプローチを必ず意識して欲しいと思います。

○南八王子3-3みなみ野 前半0-1 3PK2 得点 加々美君2 前川君

2試合目に入ると動きも良くなり、開始直後から南が攻め上がる場面が多く良い展開です。三宅君、加々美君も50m近くを一気に持ち込むようなドリブル突破を何度も見せます。

三宅君のドリブルから山本君のシュート、加々美君も自ら持ち込みシュート、惜しいシュートが何本かありましたが、この流れの中カウンター1発で11分に失点してしまいます。良い展開だったので悔しい失点です。

後半に入り、すぐみなみ野に追加点を許してしまいましたが、その1分後に加々美君が右サイドを相手DFと競り合いながらドリブルで突破し1点を返します。さらにその1分後、今度は前川君が自陣でボールをカットするとスピードに乗ったドリブルで左サイドを駆け上がり、ペナルティエリアの手前から力強いシュートを決め同点に追いつきます。

しかしそのまた1分後、今度はみなみ野に追加点を許します。その後8分後に加々美君が右へ左へと相手をフェイントで揺さぶり、中央をドリブルで崩し、再び同点に追いつきました。そのまま試合終了でPK戦に突入です。

南は3人決めて、3-2で接戦を制しましたが残念ながら春季カップ戦はここで終える結果となってしまいました。

この日は2試合で8失点と多く失点してしまったことが大きな理由の一つだと思いました。

1試合目であまり観られなかった相手への素速いアプローチやボールを奪われても自分で取り返す強い気持ちを一人心取りがしっかり意識すれば失点は必ず減らせると思います。

攻撃では多彩な足技が自然と出ていて良いと思います。練習でもっともっと磨きを掛けましょう。ドリブル・ターン・左右のキック・コーチング!!

by 野崎コーチ